



## CHAPTER 3

# ダイヤリング ルールの設定とインストール

ダイヤリング ルールは、ディレクトリ サービスと Cisco Unified Communications Manager の間で電話番号を変換します。

アプリケーション ダイヤリング ルールは、ユーザがダイヤルした電話番号に対して、そこから自動的に番号を除去するか、そこに番号を追加します。たとえば、外線発信する場合にはアプリケーションのダイヤル ルールにより、7桁の電話番号の先頭に番号9が自動で付加されます。ディレクトリ検索ルールは、発信者の識別情報をディレクトリで検索可能な番号に変換します。

連絡先の名前解決のためにダイヤリング ルールのセットを作成する必要があります。ダイヤリング ルールが変更されるたびに、アプリケーション ダイヤリング ルールとディレクトリ検索ダイヤリング ルールを設定してエクスポートする必要があります。Cisco Unified CSF クライアントは、作成されたXML ファイルをダウンロードしてその内容を解釈します。

連絡先の名前解決は、Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect によって提供されているすべての機能を利用するために必要となります。ユーザが各自のプロファイル設定に入力した番号は、Cisco Unified Communications Manager の設定と同期している必要があります。これらの番号は、Cisco WebEx Connect Administration Console で設定することもできます。



ヒント

これらのルールが存在し、使用可能であることは、必須の要件です。ダイヤリングに関連するほとんどの問題は、ルールが存在しない、ルールが古い、ルールが無効である、のいずれかに起因します。

## ダイヤリング ルールの設定

ダイヤリング ルールに関する概念のおよび作業ベースの詳細な情報については、Cisco Unified Communications Manager Administration のオンライン ヘルプまたは『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』および『Cisco Unified Communications Manager System Guide』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)

次のタイプのルールが必要です。

- アプリケーション ダイヤリング ルール
- ディレクトリ検索ダイヤリング ルール



(注)

これらのルールがすでに他のシスコ アプリケーションのために設定されている場合があります。ルールが存在する場合は、次の手順をスキップしてかまいません。

## ダイヤリング ルールのインストール

Cisco Unified Communications Manager でダイヤリング ルールを使用する場合は、Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect が、そのダイヤリング ルールにアクセスできるようにする必要があります。

Cisco Options Program (COP) ファイルを実行して、ダイヤリング ルールのコピーを XML 形式で生成します。Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect はこの XML ファイルにアクセスしてダウンロードし、その内容を解釈します。COP ファイルは Administration Toolkit から入手できます。Administration Toolkit にアクセスするには、次の URL にある [Download Software] ページから [Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect] に移動します。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Redirect.x?mdfid=278875240>

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Operating System Administration で [Software Upgrades] > [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 2 [New install] を選択します。
  - ステップ 3 [Software Installation/Upgrade] ウィンドウで、COP ファイルのソースを指定します。
  - ステップ 4 [Next] を選択します。
  - ステップ 5 [Available Software] リスト ボックスから、適切な COP ファイルを選択します。
  - ステップ 6 [Next] を選択します。
  - ステップ 7 [Install] を選択します。
- 

## ダイヤリング ルールのインストールの確認

TFTP サーバの /usr/local/cm/tftp/CUPC ディレクトリに次のファイルがあることを確認します。

- AppDialRules.xml
- DirLookupDialRules.xml

## TFTP サービスの再起動

ダイヤリング ルールのコピーが生成されていることを確認したら、TFTP サービスを再起動します。TFTP サービスは、COP ファイルを実行した各サーバについて再起動する必要があります。

TFTP サービスの再起動方法については、次の URL の『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)